

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	福岡空港国際線旅客ターミナルビル	階数	地上4F
建設地	福岡県福岡市博多区大字青木739番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	400 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店、飲食店、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年11月 予定	評価の実施日	2022年4月1日
敷地面積	89,161 m ²	作成者	梓設計 須田
建築面積	20,254 m ²	確認日	2022年4月8日
延床面積	56,860 m ²	確認者	須田



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
年間1600万人の旅客を受け入れることのできる快適な空港をめざした。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・居室の換気量は30m ³ /h・人とし、法定換気量以上の十分な換気量を確保した。 ・喫煙室の換気量は健康増進法に則って計画し、受動喫煙防止を図った。	給排水・衛生設備における信頼性向上への取り組みとして節水型器具を採用している。	到着客の待合となるアクセスホールは西向きのため屋根を突き出し、日よけをかかえている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明を積極的に採用している。	埋め戻し土に掘削土を利用	空港という特殊用途から飛行機の運用を妨げることの無いように高さの配慮、既存建物との調和に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される